



スモールサンゼミ 京都通信 12月号

2019年12月17日
第26号

この号の内容

1 テーマ

「最新の経済環境と中小企業経営」

2 講師

・スモールサン・エグゼクティブプロ
デューサー/
立教大学名誉教授 山口 義行

3 アンケートより

今月はなし

“ゼミでの一言”

①増税後、東京でも 23:00
位で人がいないという現象も
おきていた。びっくりした

②分けるという言葉は・・・
分かるという意味。市場を細
かく分けて見ると・・・（市
場の細分化）介護用シューズ
はこれから伸びていく市場。
人手不足も、分けて見ると違
う姿もみえる。フジテレ
ビ・・・早期退職金 700
0万円

③限界を感じる時・・・それ
は限界をすでに超えているか
らわかる。限界を超えないと
限界が分からない。

11月ゼミ報告

報告者 奥田英詔

・11月は、いよいよはじまった大阪との共同ゼミ。その第一回として、山口先生の講義となりました

・消費税は2%アップで、実際の納税額は25%アップすることに注意。消費税は赤字でも払う必要があるため、消費税を価格に転嫁することは非常に重要。

・景気情勢：街角景気ウォッチャー。景気が相当落ちた。台風の影響も相当あり、増税の影響はまだ見極められていない。製造業が厳しくなっている。製造業DI値38.6まで落ち込んでいる。東日本大震災以来の低さ。

・工作機械は1000億円をきりはじめると危ない。現在外需が34。1%減に対して内需は42%減と大きく減少している。

・中国経済の減少がとまらないが、アメリカ向けも10%以上減ってきている。特に自動車関連の輸出はかなり影響が出ている。

・5Gとは？：『大容量高速通信』、『超多数端末接続』、『超低遅延通信』・・・順番待ち 自動運転だとブレーキが間に合わない。遠隔手術で状況が正確に把握できる。遠隔セッション。離れた場所の人同士で音楽演奏ができる。工場内を無線化する。ワイファイだと遅れてしまう。ノルウェー 鮭の養殖場。鮭を顔認証で判別して、餌の管理や病気の管理をおこなう。鮭でもできるので、人間に使えるば全て管理できる。

・基地局 日本57万局 5Gだと10倍必要。中国は2019年度で15万局 日本は22年で1万622局。日本は大きく遅れていく可能性が高い。一帯一路政策で、光ファイバーをセットで工事している。世界人口の2/3がこれに絡んでいる。

・中小企業のキーワード『多様性』：靴屋さん TOKUTAKE 介護施設で転ばないシューズ。歩き方が違うから躓く。若者はかかとから歩くが、年寄りのはつま先から歩く。つま先の上がつたシューズを作って、新しい市場が生まれた。

・羽田商事 経験を積んだ大企業出身者を有効に用いた。大企業だと命令を淡々とこなすが、中小企業だと嫌だと反発してくる。中小企業で感じることは、専門の管理職が育てられない。中小企業の共通の壁。

・人事評価を考える。従来型の人事があっていない。明日のチームという会社では、この人事評価を専門的に取り扱う。コンピテンシー・・・行動特性 宿題を先にやる人もいれば、後でやる人もいる。行動の取り方が人によって違う。どういう行動をとる人が欲しいのか？欲しい行動。それを目標にして評価していく。普通の評価方だと、みんな3になる。社長が講演にきてくれるので、今後ゼミで活用してほしい。

その1 『各ゼミ交流活動』

●京都・大阪合同ゼミ 2020年2月18日(火)18時30分～20時30分
(開場18時00分～／懇親会20時40分～22時40分)

◆場所(予定): イベントスペース京都

〒600-8491 京都市下京区室町通四条南入鶏鉾町 493 番地ムーンバットビル7階

TEL:075-371-6817 FAX:075-748-1070

<http://www.eventspacekyoto.com/>

◆内容: 「中小企業経営者が知っておくべき『金融機関のホンネ』」
第一勧業信用組合 理事長 新田 信行 氏

●広島ゼミとの懇親会 2020年2月26日

◆場所: 京都

◆内容: 広島ゼミ企画ヒルトップ見学会後、懇親での交流

●京都・大阪合同ゼミ 2020年6月23日(火)18時30分～20時30分
(開場18時00分～／懇親会20時40分～22時40分)

◆場所: 新都ホテル(仮)

◆内容: 「最新の経済環境と中小企業経営」②

SS エグゼクティブ・プロデューサー 山口 義行教授

その2

『スモールサンゼミ京都、大阪合同 春のゴルフコンペ』

日時: 2020年4月11日(土)

場所(予定): 瀬田ゴルフコース 東コース